

本市におきまして、新型コロナウイルスの感染者が一人も発生することなく、今日に至っておりますことは、外出自粛や休業の要請に対し、市民の皆様にご理解・ご協力いただいた結果であり、心から感謝申し上げます。

さて、社会経済活動の段階的な再開に向けた政府の指針に基づき、6月19日以降、全国の都道府県をまたぐ移動の自粛が解除になりました。同時に、市民の方に利用を限定していました「公民館」や「体育館などのスポーツ施設」等をはじめとする大部分の市施設は6月19日から感染防止対策を講じた上で、通常運営に戻ります。今後の公共施設の使用については、利用者の記入をしていただきます。次第に普段の生活に戻っていきますが、感染予防を実施した上で、慎重に行動していただきますようお願いいたします。

また、市が主催、共催する大規模イベントのうち、対策を講じても3密が避けられないイベントにつきましては、中止や規模縮小などの対応を取っているところです。「敦賀まつり」や「花火大会」、「気比の松原海水浴場の開設」は、主催者等と協議の結果、断腸の思いで中止することを決定しました。感染拡大防止の観点から市民の皆様をはじめとした来場者の安全・安心を最優先に考え、判断させていただきました。

これから、本格的な出水期を迎え、豪雨による河川のはん濫や土砂災害などの発生リスクが高まります。万一、風水害が発生した場合には、避難が必要な方のために感染防止対策を行った上で、避難所を開設します。しかしながら、避難所は3密の条件が揃いやすい環境にあることをご理解ください。まずは、ご自宅の災害リスクを確認し、2階に避難したり、親戚や友人の家等への一時避難など複合災害における新しい考え方・方法もあります。避難所に避難することが必要かどうかを冷静に判断いただき、感染リスクも踏まえたうえで、適切な避難行動をとっていただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、収束に時間が掛かり、長い闘いとなることが予想されます。感染拡大防止と社会経済維持を両立させる中で、第二波が到来することをしっかり想定し、市としても対策に取り組んでまいります。また、市民の皆様には新しい生活様式を取り入れながら、「検温による体調管理」、「行動履歴の記録」など「自分を守ること」、「周りのみんなを守ること」の行動に引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年6月19日

敦賀市長 淵上 隆信